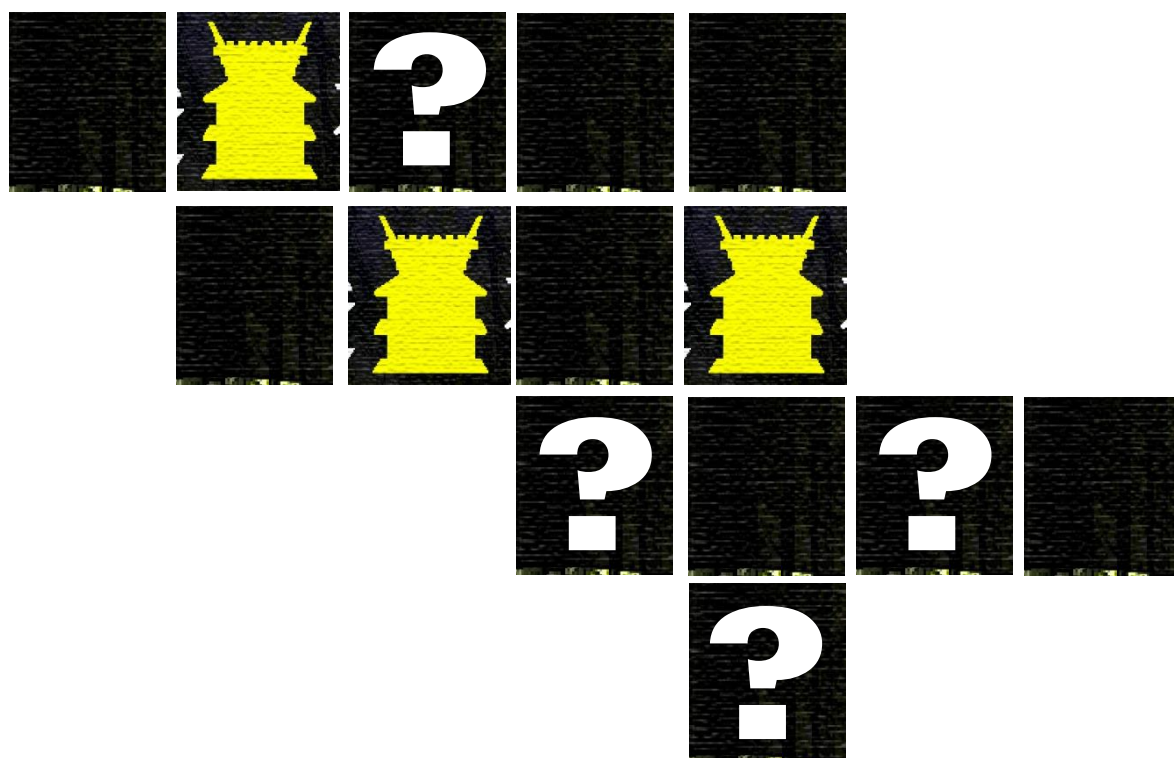


Moshi-mosu

Vol. 6

Take Free

もっと知れば、もっと好きになる！長岡京市の歴史・文化財



いろいろなモノや情報があふれ、新陳代謝の激しいときを迎えている。なんでもあるようで、実はなんにもなかったり、なんにもないようで、実はちゃんとあったりする。そんな不思議な想いを抱きながら、変化のなかを生きている。ささやかな習慣や日々の積み重ねが、まちの風景や人のくらしを変えていく。弟国宮から 1500 年。歴史や文化を感じながら、誇らしく、このまちと生きていこう。かしこく美しく。



Various things and lot of information overflowing in the world, and the time has constantly changed. We think we have everything, actually not. There is nothing, actually all here. We are having those marvelous feelings, and living ever changing world. A little custom and a daily accumulation will change the scenery of the town and the lives of people. 1500years has passed since build OTOKUNINOMIYA-palace. While feeling history and culture, and proud, let's alive with this city! Be cool, Be beautiful.



■はにわづくりワークショップ



■火おこし体験



おとくにのみや

弟国宮遷都 1500 年記念シンポジウム

多くの皆様のご来場



環日本海のなかで選ばれた都・弟国宮！



日本海には日本とアジア大陸を隔てるのではなく、日本とアジアをつなぐ役割がありました。弟国宮への遷都の背景は、日本だけでなく、日本列島をとりまく東アジア（日本列島、朝鮮半島、中国大陆）全体で考える必要があります。東アジアには、例えば漢字や仏教、儒教などといった共通する文化があります。継体天皇が都を置いた樟葉宮（枚方市）、筒城宮（京田辺市）、弟国宮（長岡京市）は、いずれも淀川水系から琵琶湖、近江、さらに日本海へと繋がっている場所。環日本海の東アジアのなかで、当時の日本が生きていくために、遷都を繰り返し、継体天皇はここ乙訓に都を置かなければならなかったものと考えます。 【井上満郎さん】



乙訓園周辺地域に宮の可能性が！



継体天皇の最後の宮である「磐余^{いわれ}玉穂宮^{たまほのみや}」は、「磐余^{むら}邑」のなかで継体天皇の即位した場所を区別するために「玉穂」とつけています。ですから、天皇の宮の名前は、郷や村程度の狭い範囲の地名に由来すると考えられます。「弟国宮」も同様に、乙訓郡よりももっと狭い範囲を指す郷や村の名前に由来するのではないかと推察できます。今里^{ふけのまち}更ノ町、井ノ内下印田で行った「更ノ町遺跡」の発掘調査で、「乙訓園^{おとくにのその}」という役所があった場所がわかっています。「園」は天皇家の野菜類を作っていたところで、この「園」周辺地域に弟国宮があった可能性が高いのではと思っています。 【小田桐淳さん】



京都産業大学名誉教授
井上満郎さん

京都高低差崖会崖長
梅林秀行さん

埋蔵文化財センター理事
小田桐淳さん

長岡京市長
中小路健吾

— 2018年6月2日（土）バンビオ —

ありがとうございました！



京都盆地の出入り口！過去と現代が同居！



総合計画にある市民アンケート調査では、緑のまちづくりへの市民満足度が高くなっています。長岡京市は、かつて東側に巨椋池があり、西側に大きな断層が走っています。それによって、緑の斜面が多くあり、平地でいられないストーリーがそこに生まれています。結果的に「京都盆地の出入り口」。であるがゆえに、交通の要衝として交通体系の整備は課題として存在し、逆に言えばヒト・モノ・カネが集まりやすい、ポテンシャルの高い地域と言えます。長岡京市をブラタモリ的に歩けば、歴史が埋め込まれた場所があちこちにあります。千年の時を超えた過去と新しい近現代のまちなみの同居をみることができるおもしろさがあります。

【梅林秀行さん】



時を超えて選ばれるまち。歴史資源を発信！



長岡京市には、この弟国宮もそうですが、乙訓古墳群、長岡京の都、戦国の明智・細川の時代と、いろんな歴史があります。意外と知っているようで知らないのが地元の歴史かなと思っています。人口減少時代のなかでもおかげさまで長岡京市は人口増をつづけています。他の地域から住むまちとして選んでいただいている、この地の利はまさに弟国宮の時代から営々と紡いでこられたものだと思います。歴史資源を多くの人に知ってもらうことは重要なことだと思いますし、住む場所のすぐそばに歴史の素材がごろごろしているまちはそう多くないと感じています。特に次世代の子どもたちにもしっかりと伝え、発信していきたいと思っています。

【中小路健吾】

参加しよう！

Event イベント情報。

1

弟国宮の頃の集落に迫る！

埋蔵文化財センター第 67 回文化財講演会 『古墳時代の集落』



市内の発掘調査の成果から
乙訓地域の古墳時代村落に
ついてご紹介します。

- 日時 平成30年6月23日(土) 午後2時～4時
- 場所 長岡京市立中央公民館 2階 講座室
- 講師 公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター職員
- 主催 公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター
- 問い合わせ 公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター ☎075-955-3622

申込不要

先着 60 名

入場無料

2

弟国宮の次は「長岡京」期！

長岡京市ふるさとガイドの会歴史講演会 『長岡宮の造営計画と瓦の供給』



谷田瓦窯群で生産された軒
瓦。瓦の供給のあり方と造
営過程を検討しながら、長
岡宮の造営計画やその特質
について考えます。

- 日時 平成30年7月8日(日) 午後1時30分～3時30分
- 場所 長岡京市立産業文化会館 1階 大会議室
- 講師 大山崎町教育委員会生涯学習課 古閑 正浩氏
- 主催 NPO法人長岡京市ふるさとガイドの会
- 共催 長岡京市教育委員会
- 後援 長岡京市観光協会
- 問い合わせ NPO法人長岡京市ふるさとガイドの会の高橋さん ☎075-955-8810

申込不要

先着 100 名

資料代 300 円

ことは、
「弟国宮遷都 1500 年」！
そして、
「長岡京市歴史再発見の年」！

記念イベント「弟国宮遷都1500年記念事業」をはじめ、歴史再発見のための情報を長岡京市のホームページで発信しています。
また、「長岡京市歴史日めくり」も、好評連載中(毎週更新)です。
ぜひ、ご覧ください。

長岡京市 弟国宮

検索

お便りコーナー

弟国宮遷都 1500 年記念シンポジウムに参加しました。
とてもおもしろく、昔と今をつなぐ新しい切り口のお話
もあってすごくいい内容でした。身近な場所にも歴史の
ロマンを感じることができて、もっと地域のことを知り
たいと思いました。

(くるみパンさん)

歴史の魅力は、知るものではなく気づくものでした！

とても素敵なお便りをありがとうございます。
今回の記念シンポジウムには、本当にたくさんのご来場をいただき、また多く
の方々に一緒に盛り上げていただきありがとうございました！1500年
前の歴史を紐解きながら、現代の長岡京市の魅力に触れていた
だくお手伝いできたならうれしく思っています。埋蔵文化財の発
掘や歴史資料の調査など、地道な積み重ねによって、歴史は
発見されます。今までと違った視点で、改めてまちを歩いてみ
てください。きっと、新しい気づきにドキドキしますよ。



『Moshi-mosu』 vol.6

発行：長岡京市教育委員会生涯学習課 京都府長岡京市天神 4 丁目 1 番 1 号／平成 30(2018)年 6 月